平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業	美名	管渠	等維持管理	事業						担当	当部	水道部	部	
	会計区	分	下水	道事業特別	会計		事業	類型	法定员	受託系	担当	当課	下水流	直課	
	事業期	間	平	成12年度以	前	~	平	成30:	年度以	降	担当	当係	建設值	系	
	総合計画 分野別計	主目的	5	都市基盤		25 汚水	排水:	処理	2	老朽智	管など	の更新	所を進	める	
	画画	副目的													
	予算区	分	款	1	項	1	目	:	2	大	:	2	中		1
	根拠法令・個	別計画	下水:	道法 —————											
		יאיני	0	市が直接実	『施・選	営		地域(住民組	l織	0	一部	又は全	部委	託
事	実施•運 方法			指定管理・	外郭団	体	名称:								
				NPO・そ	の他	<u> </u>	名称:								
業	目的														
	(対象をど			調査により半 理費用の軽											
の	な状態にす か)	るの	の方	々が安全に	安心し	て下水道和	川、道	直路利	用がて	きるよ	ようにす	する。			
概															
要					- 1.34	## 0 - - = □	+ -		. »	- 4 17 1		/ =	- a =m:	- 1	10
	内容			トールからT 所はできる🏿											
	(手段)			管の中で補作 従事職員は)設計	• 些惄	及7㎡	5路補(修工事	の設	計•些	区 坐系	冬を
				でいる。	, 6 141	则且安记 。	7 DX D I	— =	火 U· E	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 シ エ す	- U/ DX	aı	= ~1.	ח כ
	受益者負	担	無	内容											

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	99,168	101,950	109,831
		正職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00
コ		正嶼貝	人件費	千円	10,730	10,730	10,730
	費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
ス		ての心戦員	人件費	千円	0	0	0
		費用	合計	千円	109,898	112,680	120,561
7		対前	年比	%		102.5	
		一般	財源	千円	109,898	112,680	120,561
	財源	国•県	支出金	千円	0	0	0
		その他	也財源	千円	0	0	0

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		管路調査	na	目標	17,400	17,000	14,200
	活	台町砂里	m	実績	16,819	17,626	
AUA	動指標	管路補修	笛	目標	700	700	700
業	標	6年11年119	所	実績	679	629	
				目標			
				実績			
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	不明水率	%	目標			_
	成果指	小奶小 平	70	実績	16	16	
	標			目標			
				実績			

	事業目的の 達成状況		各施設の調査、補修を実施してきたことによ 。しかしながら依然として不明水率が高い 。	
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響		各施設は経年変化により老朽化するものできある。事業廃止となれば、道路陥没事故、 かねない。	
価	判 定	Α	市が実施(現状維持又は充実)	
(一次評価)	判定理由	後も施設が 制及び老杯	は重要な社会基盤の一つであり、現在も 増大していく中で道路陥没事故の未然防 5管の更新は管理者の責務でありその手法 f管理が必要である。	止や不明水による汚水処理費の抑
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)	経済的で効 査補修を行	・工法についての情報収集を進め、採用可 対率的な調査補修を行なうとともに不明水率 がうことにより効果的な補修を行なう。 耐用年数を迎える下水道施設の更新方法	をの高い区域を定め、重点的に調

=	判	定	Α	市が実施(現状維持又は充実)
次評価	判定	理由	一次評価の) とおり